

恋人の聖地プロジェクト

18カ所が仲間入り

静岡市に本部を置くNPOの地域活性化支援センターが地域振興策として取り組む「恋人の聖地プロジェクト」で、新しく山梨県の甲州市勝沼ぶどうの丘、三重県の出逢いのまち南伊勢ハートの入り江など全国18カ所が愛を告白するスポットの聖地（聖地に準じるサテライトを含む）に選ばれ、5月27日に東京都内でセレモニーが開かれた。写真Ⅱ。2007年

トから9年目で、聖地はサテライトを合わせ全国209カ所となり、初めて200カ所を超えた。レジャー多様化などで旅行に出掛けなくなったとされる現代の若者に旅の魅力を知ってもらおうと、日本観光振興協会などの力を借りながらプロジェクトを開始。観光庁と共に、JTBも後援・協賛事業者に加わる。新しい聖地には交通・観光分野で、東京ベイクルーイング・シンフォニー、山形県の蔵王ロープウェイ、福岡県の皿倉山山頂・皿倉山の夜景、栃木県のマウントジーンズ那須の4カ所が選ばれた。



同時開催のロボース

の言葉コンテストでは、大阪市の女性が恋人に贈った「いまは不良債券だけど、そのうち当たりの宝くじになるかもしれない…。もらって！」が最優秀賞に決まった。

セレモニーには、ブライダルデザイナーの桂田美さん、華道家の假屋崎省吾さん、歌手の板野友美さん、モデルの白石夢さんらが出席した。